

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（795））
2. 日時：平成30年3月22日 19時30分～19時35分
3. 場所：原子力規制庁 8階会議卓

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

穂藤保安規定係長、高嶋原子力規制専門員

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 課長 他1名

5. 要旨

- (1) 日本原子力発電株式会社から、平成26年5月20日に申請、平成29年1月24日及び平成30年2月13日に一部補正のなされた東海第二発電所の工事計画認可申請について、当該申請書に係る補足説明資料の一部が提出された。
- (2) 原子力規制庁から、事業者の準備が整ったものからヒアリングを進め、必要に応じて指摘を行っていく旨を伝えた。
- (3) 日本原子力発電から、了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・東海第二発電所 耐震性に関する説明書に係る補足説明資料（耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について）
- ・東海第二発電所 耐震性に関する説明書に係る補足説明資料（地震応答解析における既工認と今回工認の解析モデル及び手法の比較）
- ・使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書
- ・工事計画に係る補足説明資料 工事計画に係る説明資料（核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設）のうち使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書補足-170-1（使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の構成並びに計測範囲及び警報動作範囲について）
- ・安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書に係る補足説明資料のうち補足-40-4 使用済燃料プール監視カメラ用

空冷装置について（使用済燃料プール監視カメラ用空冷装置の概要）

- ・安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書に係る補足説明資料のうち補足-40-5 使用済燃料プール監視カメラ用空冷装置の操作性について（使用済燃料プール監視カメラ用空冷装置の操作性に関する補足説明）
- ・工事計画に係る補足説明資料 安全設備及び重大事故対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書のうち補足-40-14（重大事故等対処設備の事故後8日以降の放射線に対する評価について）
- ・日本原子力発電株式会社 東海第二発電所 工事計画審査資料 V-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書
- ・日本原子力発電株式会社 東海第二発電所 工事計画審査資料 V-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書
- ・工事計画に係る補足説明資料 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書のうち補足-270-3【格納容器圧力逃がし装置について】
- ・工事計画に係る補足説明資料 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書のうち補足-270-4【ベント実施に伴う作業等の作業員の被ばく評価について】
- ・工事計画に係る補足説明資料 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書のうち補足-270-5【静的触媒式水素再結合器について】
- ・東海第二発電所 工事計画に係る説明資料（V-1-1-2-2 津波への配慮に関する説明書）
- ・漂流物評価フローの案について
- ・貫通部止水処置の耐震性についての計算書
- ・可搬型重大事故等対処設備の耐震計算方針
- ・可搬型重大事故等対処設備のうち車両型設備の耐震性についての計算書
- ・可搬型重大事故等対処設備のうちポンペ設備の耐震性についての計算書
- ・可搬型重大事故等対処設備のうちその他設備の耐震性についての計算書
- ・工事計画に係る補足説明資料 耐震性に関する説明書のうち補足-340-3【可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に関する補足説明資料】
- ・DB/SAの対比表（火災防護設備）